

課題名:

## マウス脊髄損傷モデルに対する Muse 細胞の投与時期に関する免疫染色抗体の妥当性に関する検討

---

### 1. 研究の対象

本研究は、筑波大学にて実施された病理解剖時に保存された正常ヒト脊髄組織のパラフィン切片を用いた研究です。

対象となる試料は、病理解剖時に組織を保管する目的として当大学に保存されている試料を用います。ホルマリン固定後、パラフィンブロックとして保存された組織で個人情報に関するデータは一切取得せず、匿名化された試料のみを使用します。

---

### 2. 研究期間

本研究の実施期間は、研究機関の許可後から 2026 年 3 月 31 日までとします。

---

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

- 利用開始(予定)日: 2025 年 5 月 1 日
  - 提供開始(予定)日: 該当なし(外部提供は行いません)
- 

### 4. 研究目的

本研究の目的は、正常ヒト脊髄組織を用いた免疫蛍光染色を実施し、動物基礎実験に使用する抗体の妥当性を評価することで、基礎実験の組織学的な解析に役立てます。

---

## 5. 研究方法

本研究では、正常ヒト脊髄組織のパラフィン切片を用いた免疫蛍光染色を実施します。

以下の抗体を用いた染色を行い、抗体の妥当性を確認します。

- 抗ヒトミトコンドリア抗体
- 抗 NeuN 抗体(神経細胞マーカー)
- 抗 GFAP 抗体(グリア細胞マーカー)
- 抗 APC 抗体(オリゴデンドロサイトマーカー) など

※その他, 研究の必要性に応じて追加する可能性があります

研究では、試料の個別識別情報は取得せず、対象者を特定することはできません。

---

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

- 試料: 正常ヒト脊髄組織のパラフィン切片
  - 情報: 組織学的所見(ただし、個人を特定しうる情報は含まない)
- 

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし(本研究において外部への提供は行いません)。

---

## 8. 研究組織

- 本学単独研究(筑波大学医学医療系整形外科)
  - 研究責任者: 國府田正雄(筑波大学医学医療系整形外科 准教授)
  - 研究分担者: 高橋宏、坂下孝太郎(筑波大学医学医療系整形外科)
- 

## 9. 利益相反(企業等との利害関係)について

本研究は、2023 AO Spine National Research Grant の研究助成により実施されま  
す。

本研究の実施にあたり、企業からの資金提供や寄付、利益相反となる関係はありま  
せん。

---

## 10. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停  
止を希望される場合は、下記の問い合わせにご連絡ください。すでに研究結果が公  
表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

---

## 11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範  
囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが可能です。

**当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:**

**担当者の所属・氏名:** 筑波大学医学医療系 整形外科 國府田正雄

**住所:** 〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

**連絡先:** TEL: 029-853-3304 / E-mail: masaokod@md.tsukuba.ac.jp

**対応可能時間:** 平日 9:00～17:00